

地域貢献度  
ランキング2021

全国1位

NAGOYA CITY UNIVERSITY

名古屋市立大学の地域貢献

2022

明るい未来を切り拓く

地域貢献度ランキング2021全国1位を獲得!

持続可能な社会を目指す  
名古屋市立大学の地域貢献を紹介

書籍シリーズ「名市大ブックス」の展開

## ごあいさつ

名市大は、教育・研究と並んで大学の重要な使命である「社会貢献」を推進するため、平成26年度に「社会連携センター」を設置し、名市大が有する資源と学外のニーズのマッチングに積極的に取り組んでいます。

また、明るい未来を切り拓く指針として令和3年2月に策定した「名市大未来プラン2021」を着実に実行するために、令和4年1月に「研究科等未来プラン2021」を策定し、社会貢献については、10のプランを掲げました。教育研究成果を地域に還元するため、今後も名古屋市役所をはじめとする関係機関等と積極的に連携していく所存です。

本パンフレットでは、名市大での社会貢献活動の一端を紹介しております。皆様に、名市大が取り組んでいる活動実績を知っていただくとともに、さらなる連携のきっかけとなれば幸いです。

今後とも、誇りと愛に満ちた大学となることを目指し、より一層力を入れて社会貢献に取り組み、地域社会の発展に寄与してまいります。引き続き皆様からの温かいご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

社会連携センター長 明石 恵子

### 社会貢献未来プラン2021 ～地域に根差し、世界に発信するNCUの挑戦～

「名市大未来プラン2021」に基づいて策定された「研究科等未来プラン2021」の一つとしての「社会貢献未来プラン2021」は、社会貢献に関する大きな10のプランと具体的な36の実行項目を掲げ、名市大の新たな社会貢献の取り組みが動き出しています。



#### 【名市大未来プラン2021】

SDGs17の目標達成に向けた  
取り組みの推進

学修者が自分自身を改革するための  
継続的な学びの環境の創出

持続可能な地域づくりへの貢献

名古屋市が抱える課題の  
解決への貢献

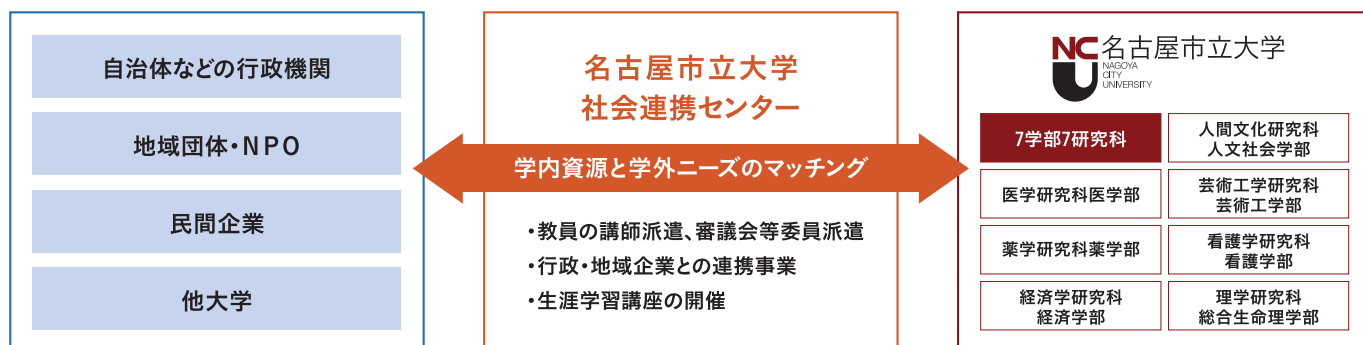
#### 【社会貢献未来プラン2021】

10のプラン

36の実行項目

## 社会連携センター

大学には教育、研究成果等の資源を活用し、市民、地域社会、企業等と協働し、社会貢献を行うことが求められています。社会連携センターでは、皆様から連携事業や講師派遣などのお問い合わせがございましたら、総合窓口として、本学教員とのマッチングを行います。「大学の力で地域の課題を解決したい」、「講座の講師をお願いしたい」などのお悩みには、私たちが相談相手になりますのでお気軽にご相談ください。





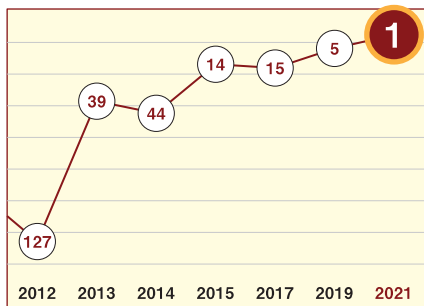
# 全国総合第1位

日本経済新聞社が行った「大学の地域貢献度に関する全国調査2021」において、本学は全国総合第1位を獲得しました。このランキングは、日本経済新聞社が全国761の国公立大学を対象に、大学が地域社会にどのような貢献をしているかを探る「地域貢献度」の調査を行い、「大学の組織・制度」、「学生・住民」、「企業・行政」、「働く場としての大学」、「SDGs・コロナ対応」の5つの分野の得点を合計して順位付けしたものです。

新型コロナウイルス感染症の影響が大きい昨今の社会情勢の中でも、本学の教員、学生の日頃の積極的な社会貢献の取り組みと、地域の皆様に支援と協力をいただいた結果が評価され、今後の更なる貢献活動の励みとなっています。

## 地域貢献度ランキング

日経グローバル「大学の地域貢献度調査2021」



学生がデザインした自動販売機

## WEB版地域連携事例集



次項以降の事例の他、本学の主な地域連携事例について、事例ごとに内容・ポイント・事業実施者などを1つの個票としてまとめ、集約した「WEB版地域連携事例集」を公開していますので、是非ご覧ください。



<https://www.nagoya-cu.ac.jp/science/contribution/renkeijirei/index.html>

## 教員の派遣

本学では、教育研究成果の地域への還元の一環として、自治体・地域団体等が主催する講演会・研修会等の講師または審議会等の学識経験者として教員を派遣しています。

### 講演会等への派遣

地域の生涯学習のニーズに応え、多様な学習機会の提供に貢献する講座から教員の専門的な知見を生かした講座まで、幅広いテーマに対し本学の教員を講師として派遣しています。

#### ■名古屋土曜学習プログラム

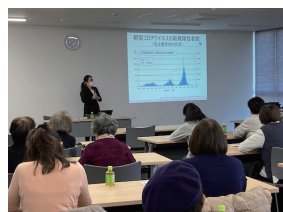
名古屋市教育委員会が主催する「名古屋土曜学習プログラム」に講師として本学の教員を派遣しています。名古屋市立の小学校に出向き、体育館を会場として、「体のしくみ」、「科学実験」、「沖縄の文化」などをテーマにした体験型の学習プログラムを実施しています。



プログラムの様子

#### ■課題別リーダー研修

名古屋地域女性団体連絡協議会からの依頼により、「課題別リーダー研修」に本学教員を講師として派遣しています。令和3年度は「未来を拓く健康医療セミナー」として、新型コロナウイルス感染症に関連した講義を中心に、「睡眠」「運動」「食」等について、全6回の講義を実施しました。



研修の様子

### 審議会等への教員の派遣

本学の教員が自治体の各種審議会等委員に就任し、政策形成に寄与しています。

#### ■主な審議会等への就任実績

- 名古屋市環境審議会
- 名古屋市広告・景観審議会
- なごや子ども・子育て支援協議会 など

■名古屋市の審議会等委員就任教員数  
(令和3年度延べ数)

# 126人

### その他の教員派遣実績

- 教えて博士!なぜ?なに?ゼミナール
- ウェルフェア健康大学

## 地域との連携

本学は、教育研究成果を地域に還元し、また、名古屋大都市圏の発展に寄与するため、行政、企業、地域住民の団体等と連携して多岐にわたる活動を行っています。

### 行政との連携

名古屋市をはじめとする行政機関と連携し、豊かで魅力ある地域社会づくりを進めています。

### ■ 高大連携

#### 大学丸ごと研究室体験

名古屋市立高校の生徒を対象とした大学水準の専門分野に関する実験などを体験する「大学丸ごと研究室体験」を医学研究科、薬学研究科、理学研究科にて開催しました。令和3年度も100名を超える高校生が参加し、どの講座においても積極的で意欲的な高校生の姿が見受けられ、学習意欲や進路に対するモチベーションを高める有意義な時間を提供しました。



医学研究科講座の様子

#### グレイド・スキップ・チャレンジ

名古屋市立高校の生徒を対象とした大学水準の調査・研究活動を体験するNCUグレイド・スキップ・チャレンジ2021を人文社会学部、経済学部、看護学部、芸術工学部にて開催しました。普段経験できない内容の講座を体験し、参加した高校生は非常に熱心に取り組んでいました。



看護学部講座の様子

### ■ SDGs IDEA FORUM 2021

SDGs 達成に向けた名古屋市の地域課題を大学生のアイデアで解決することを目指した「SDGs IDEA FORUM 2021」を、名古屋市と共催で開催しました。総アイデア数38件の中から書類審査を通過した8チームが、令和4年2月26日に開催された「SDGs IDEA コンテスト」でアイデアを発表しました。



SDGs IDEA コンテストの様子

### ■ エコチル調査

エコチル調査は、子どもを取り巻く環境や生活の仕方が、成長・発達やその後の健康に与える影響を調べています。名古屋市生涯学習センターでは、一般市民向け「エコチル調査でわかったこと」を4回の講座でお届けしました。SDGs達成に向け大学生のアイデアを募るSDGs IDEA FORUMでは、10年以上に渡るエコチル調査の経験や成果を大学生や市民に向けて発信しました。



生涯学習センターでの講座の様子

### ■ 地元の植物で「市民と育てる」庁舎

各務原市新庁舎建設にあたり、地域の遺伝的多様性に配慮した緑化手法として、地域性種苗緑化を提案しています。その後、地域性種苗育苗に向けて、令和3年11月に市民と学生、市職員により、コバノガマズミ、ヤブランなど21種類のタネを採取しました。令和5年3月の庁舎全体の完成に向けて育苗し、庁舎まわりに植栽予定です。



タネ採取の様子

### ■ よこそ大学へ!プロジェクト

～施設等で生活する子どもたちへの学習支援～ 5時間

人文社会学部では、平成25年度から名古屋市との共同企画として、児童養護施設等で生活する子どもたちが「一日名古屋市大生」として過ごす大学体験企画を行っています。令和2年度に引き続きコロナ禍であった令和3年度は、例年より規模を縮小して、回数を分けて実施しました。子どもたち36名、学生ボランティア65名が参加しました。



体験の様子

### ■ サイエンスパートナーシップイベント 「生命の源としくみを探る」

2.8時間

令和3年11月3日に、名古屋市科学館との共催で、中高生を対象にサイエンスパートナーシップイベント「生命の源としくみを探る」を開催しました。理学研究科・医学研究科の教員と科学館学芸員がウイルスやたんぱく質、宇宙といった様々な切り口から「生命の源としくみ」について講演しました。講演後にはプラネタリウムを鑑賞し、生命科学やその研究への関心を深めてもらう良い機会となりました。



サイエンスパートナーシップイベントの様子





## 企業との連携

教員の知識を還元しています。また、教員の指導のもと、学生ならではの視点による実践的な調査・研究を行い、企業に企画提案を行っています。

### ■松坂屋と「地域共生型セミナー」を開催

12時間

令和3年4月24日と25日の2日間にわたり、「健康で充実した幸せをおくるために」をテーマに、創業410年を迎えた松坂屋と開学70周年記念コラボレーション企画を開催しました。3名の医学研究科教授による健康セミナー、医学部・看護学部のMeLSC部員による健康チェック体験コーナー、大学地域貢献活動のパネル展示を実施し、中日新聞に掲載されました。



体験コーナーの様子

### ■トヨタモビリティ東名古屋のPR動画を作成

経済学部では、平成29年度からキリックスグループのトヨタモビリティ東名古屋と共同研究契約を締結し、産学連携プロジェクトを実施しています。令和3年度は、「トヨタモビリティ東名古屋のPR動画の制作」というテーマについて、河合勝彦ゼミ、茨木智ゼミ、下野由貴ゼミの9つのチームがコンペ形式でアイデアを提案しました。優秀賞に選ばれたチームの動画は、期間限定で公開されました。



学生が提案した動画の1コマ

### ■野菜の移動販売車「アグリカーゴ」のデザイン

株式会社ダイサンロジタスが運営する野菜の移動販売車「アグリカーゴ」のデザインを、芸術工学研究科影山友章研究室が担当しました。西垣林業株式会社に提供いただいた地元豊田のヒノキ材を使用し、木育の観点からデザインされた陳列棚には、野菜を買いに来た人々が笑顔になる仕掛けが施されています。



野菜移動販売車「アグリカーゴ」

## 地域住民・団体との連携・交流

地域に根ざす公立大学として、地域の課題解決・活性化に取り組んでいます。

### ■名古屋市立大学・豊橋技術科学大学 包括連携協定締結式及び記念シンポジウム

2.8時間

令和3年11月29日に、本学と豊橋技術科学大学で包括連携協定を締結し、締結式及び、記念シンポジウムを開催しました。シンポジウムは、「医薬・工連携の新たな挑戦」と題し、両大学の教員が講演・パネルディスカッションを実施し、教職員・市民をはじめ多くの方に聴講いただきました。今後も、地域社会の一層の発展に資するため、教育、研究、社会貢献等の連携を推進していきます。



シンポジウムの様子

### ■学生制作オリジナル絵本の読み聞かせ

経済学部の学生が、オリジナル絵本『あおいくんのかみかざり』を出版しました。トランスジェンダーを題材に、ひとりの男の子が性の多様性に気づく過程を描いています。令和3年度は、名古屋市子ども青少年局の協力を得て、学生自身が保育園や幼稚園にて読み聞かせを行いました。男女の区別がわかり始めるのが5歳程度と言われており、性別にとらわれず、「人」として接するのが大切であることを知るきっかけとしたいと考えています。



読み聞かせの様子

### ■中学生プログラミング教室

8時間

理学研究科では、令和元年度から名古屋少年少女発明クラブと連携し、中学生対象の人工知能のプログラミング教室を開催しています。令和3年度は8月に2日間にわたり、プログラミング言語Python（パイソン）を用いたプログラミングの基礎から応用まで、教員と大学生のサポートを受けながら、中学生が熱心に学びました。



プログラミング教室の様子

# 生涯学習講座・施設開放

本学は、幅広い世代に生涯学習の機会を提供するとともに、大学施設を開放するなど、「地域に開かれた大学」として社会貢献に努めています。令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策としてオンラインでの開催や、感染予防対策の徹底などの対応や工夫を行いました。

## 生涯学習講座の実施

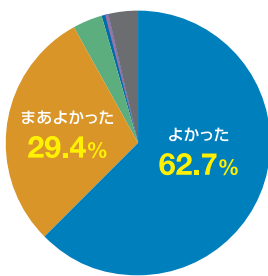
市民の方のニーズに応え、気軽に本学の教育研究成果に触れられる講座を開催しています。

### ■7研究科・病院による講座

14.7時間

全研究科及び附属病院が、最新の研究成果や市民の方の関心の高い「健康」などをテーマに「市民公開講座」を開催しています。令和3年度から本学の附属病院となった東部医療センター・西部医療センターの教員を加え、全9回の講座を企画しました。コロナ禍のため、第1回・2回は中止となりましたが、第3回以降は定員を絞って開催しました。「コロナ診療」「うつ」「生活習慣病」「都市づくり」等のテーマで講座を行い、受講者アンケートでは、90%以上の方から「よかった」「まあよかった」との回答をいただきました。

受講者アンケートでの各講座への感想



市民公開講座の様子

### ■リカレント教育講座

本学では高等教育機関の特性を生かし、医療従事者の職場復帰促進及び最新の医療に対応できる人材育成などを目的とした社会人・専門職の方々へのリカレント(学びなおし)教育に力を入れています。

#### ■なごや看護生涯学習セミナー

21.5時間

研究疑問から研究計画書の作成、量的研究や質的研究の基礎となる考え方など看護研究に関するセミナーや、家族支援における対話などの看護実践に関するセミナーを令和3年10月6日から11月12日に開催しました。聴講者との活発な意見交換がなされました。



セミナーの様子

#### ■関連講座一覧

- 医療・保健学びなおし講座 ..... 135時間  
(文科省職業実践力育成プログラム(BP)認定)
- 東海薬剤師生涯学習セミナー ..... 21時間
- 名古屋市立大学薬学部卒業後教育講座 ..... 9時間
- なごや看護生涯学習公開講演会 ..... 1.5時間

### ■薬用植物園の市民公開

8時間

名古屋市立大学では、薬用植物園市民公開講座を開催しています。令和3年度は、4月と6月にそれぞれ2日間ずつ開催しました。薬用植物を学ぶためには、植物を見るだけでなく、使い方とセットで学ぶ必要があります。教員または学生がご案内するために定員を設けていただいておりますが、いずれの日も定員以上の申し込みをいただき、盛況に終えることができました。



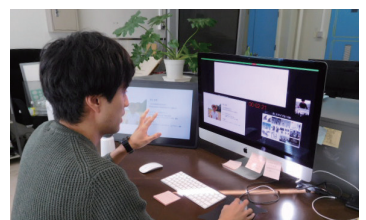
薬用植物園見学の様子

### ■千種生涯学習センター共催講座

6時間

芸術工学研究科では、千種生涯学習センターと共催で、建築やデザインをテーマに全4回の連続講座を開催しています。

令和3年度は「意味とカタチ」と題し、視覚でとらえられるさまざまな有形物の背後に潜む、各々の固有の意味(=見えないもの)を解説し、それらを「見る」楽しさを学んでいただきました。



Zoomによる遠隔講義の様子



本学では、このほかにも多くの生涯学習講座を実施しています。詳細は、例年2月と8月の年2回発行している生涯学習情報誌「知の広場」またはウェブサイトをご覧ください。  
<https://www.nagoya-cu.ac.jp/science/contribution/event/>

## 大学・病院施設の開放

公共的・公益的な行事等の会場として貸付けています。

各種資格試験や学術講演会等の開催会場として、教室、ホール、会議室などの大学・病院施設を一時貸付しています。

また、学術研究を目的とした市民の方に対する所蔵図書等の閲覧・貸出も行っています。

(令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一般、本学卒業生の方の図書館利用を停止しました。利用に関する詳細は本学Webサイトをご確認ください)

#### ■令和3年度

生涯学習講座			大学・病院施設の貸付件数	総合情報センター(図書館)の市民利用者数
講座数	受講者数	総時間数		
61	3,594人	430.8時間	661件	—



# 病院における地域医療への貢献

名古屋市立大学医学部附属病院群は、地域の中核医療機関として、高度かつ安全で開かれた医療を提供するとともに、質の高い医療人を育成しています。

## ■3病院一体となった地域貢献の取組

令和3年4月より、名古屋市立東部医療センター・西部医療センターが本学医学部の附属病院となりました。

3病院が一体となることで柔軟な応援体制も可能となり、名古屋市が実施するパロマ瑞穂スタジアム等における新型コロナウイルスワクチンの大規模集団接種や新型コロナウイルス感染症専用病床の運営に対し、多くの医療従事者を派遣し貢献することができました。また、第6波の際には感染拡大により医療のひっ迫が深刻となっていた沖縄県へ看護師を派遣しました。

なお、令和5年4月には、名古屋市立緑市民病院及び名古屋市厚生院附属病院の附属病院化を予定しています。今後もさらに本学の附属病院群として、トップレベルの医療提供を行い、名古屋医療圏においてリーダーシップを発揮していきます。



新型コロナウイルスワクチン大規模集団接種シミュレーションの様子

## ■救急・災害医療の取組

地域全体の災害対応能力の向上を目指して、近隣の医療機関を対象に、EMISの入力講習会を開催しています。EMISとは、広域災害救急医療情報システムのごとで、大規模災害時に各医療機関が被害状況などを入力・発信することにより、国内全域で情報が共有され、県や厚労省などの行政が被災の全体像をつかむことができ、被災地においては迅速な支援を受けることができます。

## ■地域医療連携の推進

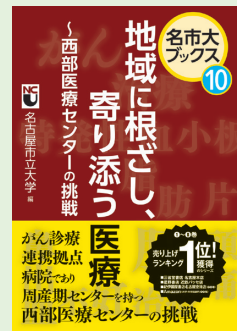
一般の医療機関では実施することが難しい手術や先端医療・高度医療などを担う病院として、地域の病院及びクリニック等と相互に協力・連携し、診療を行っています。地域の医療機関からご予約をお取りいただき、紹介状をお持ちの上ご受診ください。

## 書籍シリーズ名市大ブックスの展開

令和2年10月、名市大の新たな社会貢献活動として、書籍シリーズ名市大ブックスを創刊しました。医・薬・看護学部を有する本学の強みを活かし、「健康・医療」をテーマに病気の予防策や先進の治療法をわかりやすく解説しています。

また、令和3年度は、東部医療センターと西部医療センターの附属病院化を受け、両医療センターの医師らを中心とした巻を発行し、それぞれの専門性による幅広い分野へ展開しました。

令和4年5月現在、第1～10巻が発売され、好評を博しています。今後も新巻の発刊を予定しており、更なる貢献を目指しています。



価格 / 本体1,100円(税込) 仕様 / A5判・152～168頁  
販売場所 / 書店、Amazon、名市大病院、名市大生協など  
編者 / 名古屋市立大学 発行 / 中日新聞社

## 名市大ブックス特別市民公開講座の開催

4.6時間

「名市大ブックス」創刊1周年を記念し、令和3年12月5日に、特別市民公開講座を開催しました。午前の部「不治の病は過去のこと!?がん治療の新時代」、午後の部「痛みの正体～見える痛みと見えない痛み～」と題し、名市大ブックスの執筆者である教員・医師らがそれぞれのテーマで講演し、市民を対象に、健康・医療の最新の知見や正しい知識をお伝えしました。受講者からは、「自身の健康を考える機会となった」等の声が聞かれ、好評のうちに幕を閉じました。



特別市民公開講座の様子

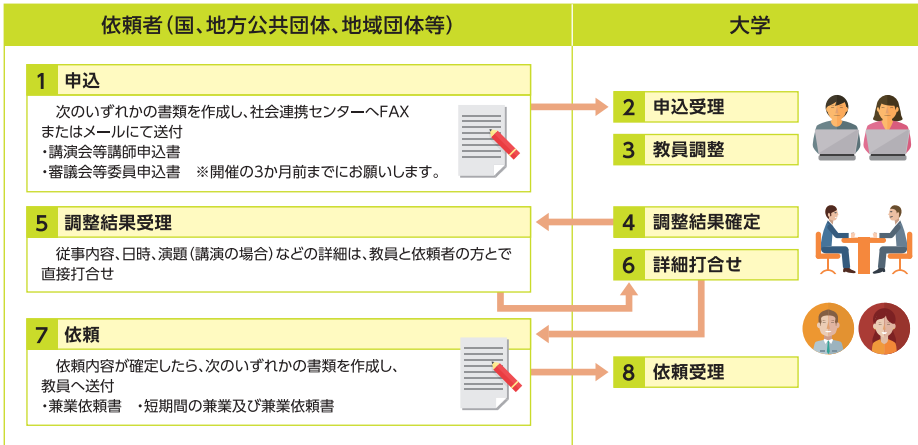
## イベント等開催報告



本学が開催した生涯学習講座などのイベントの様子について「イベント等開催報告」として大学ウェブサイト上で公開していますので、是非ご覧ください。

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/science/contribution/report/index.html>

## 教員派遣手続きの流れ



※申込書等各書類の書式はウェブサイトからダウンロード可能です。

※調整した結果、お引き受けできない場合もございますので、何卒ご了承ください。

名古屋市立大学 教員派遣

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/science/contribution/haken/index.html>

## ご寄附のお願い

名古屋市立大学では、高いレベルの教育、研究、医療などの活動を展開し、市民に開かれた大学づくりを実践していくために、寄附金を募集しております。

お問合せ先	学術奨励寄附金について(学術研究に対するご支援)	学術課	☎ 052-853-8008
	大学振興基金について(大学運営全般に対するご支援)	総務課	☎ 052-853-8005
	名市大生みらい応援基金について (経済的理由により修学に困難がある学生の修学に対するご支援)		
	現物資産活用基金について(有価証券等の現物資産によるご支援)	附属病院経営課	☎ 052-858-7113
	さくら基金について(附属病院の運営に対するご支援)	東部医療センター経営課	☎ 052-721-7171
	あじさい基金について(東部医療センターの運営に関するご支援)	西部医療センター経営課	☎ 052-991-8121

(土、日、祝日、年末年始を除く9時～17時)

## アクセス案内



### 桜山(川澄)キャンパス

名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

- 地下鉄 | 桜通線「桜山駅」下車3番出口
- 市バス | 金山⑦のりばより金山12「市立大学病院」下車  
金山⑧のりばより金山14(桜山経由)  
「市立大学病院」下車

### 北千種キャンパス

名古屋市千種区北千種2-1-10

- 市バス | 名古屋駅バスターミナル⑩番のりばより基幹2「萱場(かやば)」下車  
米③のりば(オアシス21)または、米(北)②のりば(路上)より基幹2「萱場」下車  
千種駅前②のりばより千種11「清明山」下車  
池下③のりばより幹砂田1(清明山経由)  
「清明山」下車

### 滝子(山の畑)キャンパス

名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1

- 地下鉄 | 桜通線「桜山駅」下車5番出口から徒歩12分
- 市バス | 金山⑦のりばより金山11・12・16「滝子」下車  
金山⑧のりばより金山14(桜山経由)  
「滝子」下車

### 田辺通キャンパス

名古屋市瑞穂区田辺通3-1

- 地下鉄 | 桜通線「瑞穂区役所駅」下車1番出口から徒歩15分  
名城線「総合リハビリセンター」駅下車1番出口から徒歩15分
- 市バス | 金山⑦のりばより金山16「市大薬学部」下車  
金山⑧のりばより金山14「市大薬学部」下車